

第54次南極地域観測隊内陸雪氷観測報告 Glaciological Activities of 54th Japanese Antarctic Research Expedition Inland team

本山 秀明^{1*}, 鈴木利孝³, 福井幸太郎⁴, 大野浩¹, 保科優⁵, 藤田秀二¹
Hideaki Motoyama^{1*}, SUZUKI, Toshitaka³, FUKUI, Kotaro⁴, OHNO, Hiroshi¹, HOSHINA, Yu⁵, FUJITA, Shuji¹

¹ 国立極地研究所, ² 総合研究大学院大学, ³ 山形大学, ⁴ 立山カルデラ砂防博物館, ⁵ 名古屋大学
¹National Institute of Polar Research, ²The Graduate University for Advanced Studies, ³Yamagata University, yamagata, ⁴Tateyama Caldera Sabo Musium, ⁵Nagoya University

第54次南極地域観測計画では、重点研究観測のサブテーマ3の研究課題である「氷期 - 間氷期サイクルから見た現在と将来の地球環境」を中心に南極氷床沿岸から内陸のドームふじ周辺の観測調査を約3か月間実施した。主な観測項目は、1) 南極氷床ダイナミクス研究・過去の気温復元・底面融解としての、ドームふじ基地深層掘削孔の検層観測、浅層掘削孔の氷温観測設置 (Pen.State Uni との共同観測) 氷床探査レーダー観測、2) 近年の氷床表面質量収支・堆積環境変化・物質循環研究としての、表層探査レーダー観測、3) 地点での浅層コア掘削、雪尺、雪尺網観測、降積雪サンプリング、ピット観測、雪氷・気象観測、氷床流動観測と表面地形観測のためのGPS観測、吹雪観測装置の設置、無人気象観測装置保守、新ドームふじ基地AWS設置などである。当日は、観測調査の概要といくつかのトピックスを紹介する。

キーワード: 南極氷床, ドームふじ, 表面質量収支, 検層観測, 氷床探査レーダー, 表面積雪採取

Keywords: Antarctic ice sheet, Dome Fuji, surface mass balance, borehole logging, radar echo sounding, surface snow sampling